令和8年9月20日執行

館林市議会議員選挙 選挙公報

館林市選挙管理委員会

私は市民の為に発言します。行動します。

市政に全力投球

市議会 連続一般質問継続中!!

●一般質問とは行政の問題点や市民の皆様から頂いた提案を公式の場所でやり取りできる唯一の場所です。私は市民のために全力で頑張っていきたいと思います。

◎昭和30年8月20日生まれ
◎仲町(旧本紺屋町)出身
◎第一小、第一中卒業
◎栃木県立足利高校卒業
◎青山学院経営学部卒業
◎市議会議員四期目(活躍中)
◎市議会副議長
◎経済建設常任委員長
◎館林青少年センター補導員
◎還暦熟年野球活躍中
◎現住所:館林市分福町1000-35

スポーツ過疎からの脱却
医療過疎からの脱却
福祉過疎からの脱却

斉藤貢一君を応援しています

なんでも『賛成』と言ってるほうが楽だろうってことは私たちだって解ります。利口な議員よりも、損得よりも善悪を選んでいるバカな貢一君を尊敬します。そんな訳で、私たちは貢一君を心から応援したいと思っています。

大塚　均



さいとう こういち

無所属
71歳

チャレンジしよう! 館林の未来のために!



館林市議会議員候補者

しばた まこと
(柴田 信)

昭和45年5月13日生まれ
第六小学校卒業
第四中学校卒業
西邑楽高校卒業
城西大学経済学部
経営学科卒業

●職歴など
有限会社入ヶ谷福祉 代表取締役
(介護福祉士・介護支援専門員 資格取得)
防災士／元・第一小、第一中PTA本部役員
●議員略歴…平成30年　館林市議会議員当選
市民福祉常任委員会 副委員長／経済建設常任委員会
議会報編集委員会 委員長／消防組合議員・医療事務組合議員
総務文教常任委員会 委員長／市民福祉常任委員会 委員長
館林市国際交流協会 副会長

後援会事務所
館林市入ケ谷町98

選挙事務所
下三林研修所

私の実績を活かせる最重要項目

1.安心して暮らせるまち
○高齢者が元気に安心して生活できる支援　○医療・介護の地域包括システムの構築　○認知症ケアの発展的な取り組み
○人口減少・少子化対策への取組　○災害早期対応システムの構築

2.災害に強いまち
防災士として一層取り組みたい
○防災・減災対策の強化　○災害早期対応システムの構築
○SDGs(持続可能な開発目標)推進

3.学び、育むまち
○こどもの居場所づくり・こども食堂の推進　○多文化共生(在留外国人)に関する取り組み　○学校適正規模・適正配置に関する取り組み

4.元気であるまち
○観光・商工振興に関する取り組み　○農業振興と大型圃場整備の取り組み　○人手不足、後継者不足に関する取り組み　○館林インターチェンジ周辺の開発　○産業団地造成の促進



しばた まこと

56歳

人・企業・まちの健康な館林へ。
健康が館林の未来を変える 3つの政策

1 人の健康
予防中心のまちづくり
- 健康づくりの習慣化
- 食事・運動・生活習慣の改善
- 子どもから高齢者まで健康支援

2 企業の健康
健康経営の促進
- 働く人の健康づくり
- 心と体の健康管理
- 働きやすい職場づくり

3 まちの健康
つながる地域づくり
- 地域交流の場づくり
- 世代を超えたつながり
- 孤立を防ぐ仕組みづくり

人が元気に、企業が元気に、そして館林を元気に。
市民の皆様と一緒に、明るく元気な館林をつくります。



吉野 みちひろ

無所属
49歳

斉藤 しんいち

住んでいて良かった館林を目指します

通過する街から 人の集まる街
- 地域資源を活用し、注目される館林、人の集まる館林を目指します。
- 自動車社会に対応した、快適な道路交通網の整備を進めます。

安心・安全　そして快適な街に
- スポーツ・レジャーの充実を通して、快適で活力ある健康社会を目指します。
- 合理的配慮を通して共生社会の実現に向け、福祉・介護・地域医療の充実を目指します。

未来につながる　都市開発
- 教育・保育の充実を目指します。
- 親世代から子ども世代へ、いつまでも受け継がれる街を目指します。
- 首都圏への利便性を活かした都市開発。

健康で楽しく
快適で活力あふれる
未来都市を目指して
ランクUP たてばやし

経歴
・群馬県立館林高校 卒
・千葉商科大学 卒
・館林青年会議所理事長
・館林消防団第一分団長
・館林市議会議員　1期
・議会運営委員会副委員長



斉藤 しんいち

無所属 67歳

すべては館林のために

「子どもたちに誇れる、子どもたちが誇れるまち」の実現に向けて!

未来への投資を! このまちで暮らす大人として地域の誇りを、子どもたちの未来へつなぐ責任があります!

《1 誰もが安心して暮らせるまちに》
子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らせる地域インフラへの未来への投資

《2 若者が集う賑わいのあるまちに》
雇用を生み出し、若者が働きやすい環境を整えUIJターンを促す未来への投資

《3 持続可能な成長と質の高い子育て環境のまちに》
学校再編や公共施設の集約化等を取組、質の高い教室環境の提供など、成長への未来への投資

《4 商・工・農すべての産業が循環し、潤うまちに》
館林インターを活用し市外等からの誘客と産業の循環をはかり、市内活性化に向けた未来への投資

プロフィール
●氏　名　権田　昌弘（ごんだ　まさひろ）
●生年月日　昭和42年（1967年）2月13日
●出身地　館林市 城町
●家　族　妻・長女・長男・ロコ（トイプードル）
●趣　味　スポーツ観戦・アウトドアスポーツ

略歴
・平成６年：株式会社ごんだ入社（現在 代表取締役）
・平成18年：(社) 館林青年会議所理事長
・平成21年：館林市立第八小学校PTA会長（2期）
・平成24年：館林市立多々良中学校PTA副会長
・平成27年：館林商工会議所青年部 副会長
・現　在：館林市議会議員３期目 前議長



ごんだ 昌弘
(まさ ひろ)

無所属
59歳

館林市の未来ビジョン!
フードバレー・スマートシティ＆アートバレー・エンタメシティたてばやし

先進教育都市
教育・子育て最優先発展するまちづくり―

女性活躍都市
若い女性・働く世代に選ばれるまちづくり―

美酒美食のまち
伝統を生かしたコラボ産業づくり―

フードバレー・スマートシティ
未来産業都市づくり―

アートバレー・エンタメシティ
文化創造都市づくり―

①昨年の市長選挙で市民のみなさまが私に約5,000票を投じてくださいました。ここに感謝を表明します。

②市議会議員の使命は、市長が市議会に提出した政策・予算を審議し、進捗を検証し、決算を評価することです。
私は、これら市の政策等を厳正に審議し、市民のみなさまに広く詳しく報告することを誓います。

③お金のかからない・静かな市議選挙を実行するために、選挙カー・選挙事務所・運動員による選挙活躍はしません。

プロフィール
●略　歴
1959年1月29日生まれ
館林市立第三中学校
埼玉県立熊谷高等学校
国立埼玉大学経済学部
味の素株式会社
17年間の父母ガン闘病介護
館林市図書館協議会委員
館林市環境審議会委員
館林市第6次総合計画審議会委員
シンタテバヤシ・プロジェクトを総合計画審議会で提案する
●趣　味
サイクリング、音楽鑑賞、美術鑑賞
美味探究、まちづくり研究

シンタテバヤシの詳しい内容はコチラ

shin TATEBAYASHI シン★タテバヤシ



佐藤 さとし

無所属

＼あなたと、みんなで作る／
館林、わくわく大作戦!
―子育てしやすく、誰もが住みやすい街へ―

◎わくわく子育て
子どもが増えるほど、街に笑顔が溢れる
- 子育て世代の家計を、地域通貨で支える
- そのお金が市内のお店を巡って、街にも元気を
- 合計特殊出生率の改善を、館林の地から実現へ

◎わくわく農業
畑を耕す人が増えるほど、街の食卓が豊かに
- 自分たちの手で、安心安全な食を育てる
- 未経験でも無理なく始められる新規就農のモデルを広げ、耕作放棄地を再生
- 「自然畑が持てる、住みやすい街」として首都圏に向けPRし、街への訪問者・移住者を呼び込む

◎わくわく移住
新しい仲間が増えるほど、街に活気が満ちる
- 持ち家補助や住宅ローン金利の補助で、若い家族の決断を後押し
- 都心から約1時間、里沼の自然、手の届く地価――館林の強みを活かす
- 定住で固定資産税の安定財源を確保し、街全体を底上げ

◎わくわく街づくり
人が集まれば、新しいお店も自然と増える
- 里沼や茂林寺など館林の宝を活かし、絶景カフェや映えスポットで人を呼ぶ
- 民間投資を呼び込み、市民が望む店舗・施設の設置を後押し
- 「遊ぶ場所がない」「交流できる場所がない」を、変える

プロフィール　住宅・保険・銀行・相続税務と幅広い分野で数百組のお客様に寄り添う。消費税の正体を知り、制度の歪みや日本の政治のあり方に危機感を抱き、参政党へ入党。少子化対策こそ国守りの基本と捉え、都心から移住した当事者として地方の魅力を発信し、移住・定住促進と子育て支援の成功事例を作り、国政へ波及させることを目指す。



参政党

秋元 よしあき
(あきもと)

36歳

現状維持の緩やかな衰退より、挑戦によって成長に踏み出す!



未来の子どもたちのために
- 多様な学びができる教育環境と安心できる居場所の確保
- 子育て世代の保育料軽減

地元起業を目指す方・本市が誇る観光の魅力を広く伝えるために
- 管理不全の観点から空き店舗の解消
- 歴史ある館林市の魅力発信 観光価値をあげ 暮らし続けたいまちづくり

新しい挑戦を行うために
- 商店街の賑わい創出と駅西口エリアの開拓

動く、変える、未来へ

ホームページはこちら

【経歴】
法政大学　文学部　英文学科　卒業
教育分野のシステム整備とICT活用支援業務に従事
館林ウェストファームマーケット代表としてたたら沼フェスタ・科学館Mayマーケット、お月見会、超肉祭クリスマスマーケットを主催。不登校親の会「あおぞら」顧問を兼務。



八木橋 ようすけ

無所属
47歳

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

令和8年9月20日執行

館林市議会議員選挙 選挙公報

館林市選挙管理委員会

半田てつや

無所属



教育の経験を、館林の未来へ。
子どもから高齢者まで、安心して暮らせる館林をつくります。

○教育活動の充実
26年間の教員経験を生かし、子ども一人ひとりに寄り添う教育を進めます。学校施設の整備、教員の負担軽減、不登校支援、部活動の環境改善に取り組みます。

○子育てを地域全体で応援
妊娠・出産から子育て、教育まで、切れ目のない支援を充実させます。子育て家庭の経済的・精神的な負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられる館林を目指します。

○農業を守り、次世代へ
農業資材や燃料価格の高騰への対策、担い手・新規就農者への支援、耕作放棄地の活用を進めます。スマート農業、ブランド化、販路拡大により、農業所得の向上を目指します。

プロフィール
名　前：　半田　哲哉　（はんだ　てつや）
住　所：　館林市楠町1338－1
生年月日：　昭和51年11月25日　　年齢：49歳

学歴
館林市立第五小学校卒業
館林市立第四中学校卒業
群馬県立館林高等学校卒業
ニュージーランド　クライストチャーチ　ボーイズ
ハイスクール　留学（1年間）
獨協大学　外国語学部　英語学科卒業

職歴
平成25年　館林市立第四中学校勤務（6年間）　学年主任
令和元年　館林市立第三中学校勤務（2年間）　進路指導主事
令和３年　板倉町立板倉中学校勤務（5年間）　学年主任

すべての世代に安心と希望を
- 高齢者には安心を
- 子育て世代・単身者には支えを
- 若者には希望と挑戦の機会を

現場の声を、市政へ。
教育・子育て・農業から、館林を元気に。
半田てつや、全力で働きます！

井上かつひこ

無所属
58歳



新しい時代の館林を創る

安全安心な街、住んでよかった。住んでみたい館林へ

○1968年2月14日館林市生まれ
○第二小、第一中卒業
○館林高校、専門学校卒業
○元館林市消防第一分団長
○館林市第二小学校元ＰＴＡ会長
○館林市第一中学校元ＰＴＡ会長
○関東学園大附属高等学校元保護者会会長
○第二小学校区健全育成協議会会長
○群馬県青少年育成推進員
○有限会社井上運輸 創業
○群馬県トラック協会館林支部 理事

1 買い物難民や交通弱者の支援
・暮らしの足を守る　・移動の不安ゼロへ　・買い物に困らないまちへ

2 子育て支援の実現
・安心の子育て環境づくり　・子育てしやすいまちへ　・子どもを真ん中にしたまちづくり

3 障がい者や世代間不公平の改革
・子どもも高齢者も障がい者も、みんなに公平を
・世代をつなぎ、支え合うまちへ　・一人ひとりにやさしい地域改革

しのぎ正明

日本共産党



物価高から市民の暮らし、営業を守る1票を
ゴミ袋有料化計画は中止を！の1票を

誠実に　市民の声を届け、
暮らしと営業を守ります

●原点は福祉と平和。
●市民の声を届け24年。抜群の論戦力。

しのぎ正明のお約束

●子育て支援
3歳未満児の保育料を無料化
保育園・こども園の給食費の無償化
学校教材を学校備品化。修学旅行代への補助
城沼市民プールの廃止方針を見直し、存続を

●高齢者支援
国保税・介護保険の負担軽減
高齢者の補聴器購入補助の拡充
路線バスの増便、デマンド交通の導入
タクシー料金助成制度をもっと利用しやすく改善

●医療・福祉
医師不足の解消など地域医療の再生・充実
介護労働者などケア労働者の処遇改善

●商工業者・農家支援
高騰している資材代や燃料代などの直接補助
住宅・店舗リフォーム制度の拡充
地産地消の推進、有機農業の推進で農業振興



財源は
市予算330億円（2026年度一般会計当初予算）
ためこみ金33億円（2024年度末基金）
くらし第一に活用すれば実現できます

改憲・大軍拡の高市政権に審判を！

しぶや りつ子

渋谷　理津子

無所属



まちに活気を人に笑顔を!

特色ある産業
農・工・商の
さらなる活性化

安心安全
インフラの老朽化に対応
地域の食料安全保障

小・中・高校
少子化に対応した
教育環境
地域との連携

路線バス
バス停に屋根とベンチを

つつじのまちを
変化と勇気で
リスペクト

道路整備
館林インターの改修
生活道路の補修

中心市街地の整備
城下町らしいまちづくり

デジタル化とAI
利活用の推進
リテラシーの啓発

大切な地域資源
ツツジ・里沼・歴史・人物
向井千秋記念子ども科学館
館林美術館・茂林寺など

財政基盤
企業誘致で伸ばそう

略歴　館林市加法師町に生まれる /館林市立第二中学校卒業 /群馬県立館林女子高校卒業/駒澤大学経済学部卒業 /館林市役所/民間企業・団体職員・訪問介護を経験/館林市議会議員3期目/総務文教常任委員長、館林市議会副議長/令和6年10月～館林市議会議長

所属等　館林市スポ協郷谷支部顧問/館林市防災士連絡協議会/館林邑楽更生保護女性会/館林八木節連合会理事（赤羽八木節保存会）/桐華流日本きもの指導者協会着付け教師/渋瑠会/秋晃会/三小ボランティア/428会

小林ただや

無所属
55歳



子どもの心に灯をともそう

福祉　安心して生活できる福祉のまちづくり

こども　子どもは地域の宝、安心して子育てができるまちづくり

スポーツ　スポーツ施設の整備と充実

伝統・文化　伝統文化を次世代へ継承

【一期４年のあゆみ】この４年間は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止、５類へ移行しアフターコロナのなか、スタートしました。
　世間では、帯状疱疹に罹患する方が増え、ワクチンを接種するには、経済的な負担が大きいことを訴え、助成制度を設けることが出来ました。
　スポーツを愛する議員として、スポーツ施設の充実を訴え、ダノン城沼アリーナにエアコン・エレベーターを設置、思いやり駐車場の設置や駐車場からアリーナまでの段差を解消する計画となりました。
　車いす利用者の外出を手伝った経験から、市内の道路をみると、歩道の未整備が多く、ベビーカーや車いすでの通行ができないところがあるため、歩道の拡幅や段差解消など訴えを続けています。
　近年、「ヤングケアラー」という言葉を耳にすることが多くなりました。館林市で育つ子どもたちの教育の機会は誰もが平等であることを訴え続けています。

【経歴】
2022年館林市議会議員（初当選）
●市民福祉常任委員会　●経済建設常任委員会 副委員長　●議会報編集委員会　●邑楽館林医療企業団議会議員
【役職】
●館林市スポーツ協会多々良支部副支部長　●館林まつり副実行委員長　●館林市レスリング協会副理事長
●群馬県レスリング協会理事　●長良睦会会長　●館林神輿連合代表　●館林煙硝会会長

川村ゆきひと

無所属
64歳



次の世代のために…元気な館林

1 医療・福祉
①地域医療体制の向上
②市民の命を守るため、感染症対策と強化
③安心して暮らせる（障がい者）福祉サービスの向上

2 安心・安全
①通学路の安全確保（横断歩道等の整備）
②交通安全の向上「でこぼこ道路」の補修強化
③地域と連携した高齢者・子ども・障がい者の見守り強化

3 教育・子育て
①次世代を担う青少年健全育成の推進
②ひとり親世帯など、働くお母さんのための子育て支援
③ペットと一緒に安らぎと安心して暮らせるまちの推進

4 文化・スポーツ
①サッカーができる人工芝の多目的グラウンドの新設
②渡良瀬川青少年ひろばのトイレの増設
③館林の自然や景観を守り、日本遺産里沼を継承

プロフィール（主な経歴）
●1962年館林市城町生まれ
●館林市青少年育成推進員連絡協議会（現在：本部役員副会長）
●館林市議会議員 初当選（2018年、現在２期）
●館林市議会副議長　●館林邑楽聴覚障害者協会顧問
●館林市サッカー協会顧問　●館林第一ケネルクラブ顧問

表彰
●館林市教育委員会表彰　●館林市 市政功労者表彰
●館林市 市功労者表彰　●館林市青少年顕彰表彰
●群馬県青少年健全育成功労者表彰

谷田川（やたがわ）あきよし

無所属
37歳



地元愛と行動力でこれからも走り続けます

まだまだ館林はいける！

活気を生み出す3ステップ

1. 既にある土地や建物の魅力を高める
空き物件をDIYで改装してみる、暑さ対策のグリーンを増やす、などの具体的な行動実践しながら、行政と連携して経済が循環する仕組み作り。

2. 館林を勢いづけ、市民の愛着を増やす
誰かの、何かのせいにするのではなく、欲しい暮らしは自分たちで作る。

3. 人口減少時代でも選ばれるまちへ
交通の便の良さ、災害の少なさ、など実用的な強みもアピールしながら、館林がもつ歴史と文化の価値を再発信。住みつづけたい館林をみんなで守る。

学歴
1989年　館林生まれ
2002年　館林第一小学校
2005年　館林第一中学校
2008年　栃木県立足利高等学校
2012年　埼玉大学経済学部 卒

現職
- 有限会社フォレスト
代表取締役社長 | 市内の飲食5店舗経営
- 合同会社engine
代表 | シェアオフィス事業
- 城沼観光株式会社
取締役 | 渡船・観光遊覧船運営

池森（いけもり）のり子



池森のり子3つの約束

1. 子どもたちの安全を守る
通学路の安全対策や地域の見守り体制の強化など、**子どもたちが安心して学び育つ環境づくり**を進めます。



2. やさしい福祉のまちへ
高齢者や障がいのある方が、住み慣れた地域で**自分らしく暮らし続けられる支え合いのまち**を目指します。



3. 暮らしやすい地域づくり
生活環境の改善や地域の課題解決に取り組み、**誰もが心地よく暮らせる地域の実現**を図ります。



この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

令和8年9月20日執行

館林市議会議員選挙 選挙公報

館林市選挙管理委員会

こどもたちに誇れる館林を築くために ちからになります!

子どもたちに笑顔を!

- ●子どもたちが大きな夢を持ち実現するための政治に取り組みます
- ●子どもたちの健康を守ります
- ●添加物を極力避けオーガニック給食の実現に向けて取り組みます

地域に活力を!

- ●地域コミュニティを充実させ、安心安全なまちを形成し地域の活性化を推進します
- ●歴史・文化を活かし稼ぐ力を高めるまちづくりを目指します



高齢者に笑顔を!

- ●高齢者にやさしいまちづくりを目指します
- ●地域医療の要「かかりつけ医」の充実を目指します
- ●健康寿命を延ばし生きがいを持って暮らせるよう介護予防の拡充に取り組みます



無所属

岡野ようこ

経歴

令和４年９月　館林議会議員選挙
（株）足利銀行館林支店勤務を経て
生活協同組合コープぐんま非常勤役員
（平成26年～令和２年）
館林民生委員児童委員・主任児童委員
館林市立第三中学校学校評議委員 等　歴任

現在

館林市女性防火クラブ連合会副会長
館林市青少年センター補導員会理事
館林市食生活改善推進員
館林市更生保護女性会会員
館林市立第十小学校見守り隊メンバー
関東学園同窓会副会長

資格 宅地建物取引士・准看護師・美容師・調理師・防災士・群馬県子育て支援員

物価高から市民の暮らし、営業を守る１票を ゴミ袋有料化計画は中止を! の１票を



日本共産党

田辺じゅんこ

ひたむきに 市民の声を届け、暮らしと営業を守ります

●保育士42年。「子どもは社会の宝」、公の責任で子どもを守る仕組みづくりにがんばります。

田辺じゅんこのお約束

●子育て支援
３歳未満児の保育料を無料化
保育園・こども園の給食費の無償化
学校教材を学校備品化。修学旅行代への補助
城沼市民プールの廃止方針を見直し、存続を

●高齢者支援
国保税・介護保険の負担軽減
高齢者の補聴器購入補助の拡充
路線バスの増便、デマンド交通の導入
タクシー料金助成制度をもっと利用しやすく改善

●医療・福祉
医師不足の解消など地域医療の再生・充実
介護労働者などケア労働者の処遇改善

●商工業者・農家支援
高騰している資材代や燃料代などの直接補助
住宅・店舗リフォーム制度の拡充
地産地消の推進、有機農業の推進で農業振興

財源は
市予算330億円（2026年度一般会計当初予算）
ためこみ金33億円（2024年度末基金）
くらし第一に活用すれば実現できます

改憲・大軍拡の高市政権に審判を!

小さな声を大切に。全力で働きます。

皆様の声が、実績になりました。

高齢者の安心を支える実績

タクシー券（カード）の拡充
24枚➡36枚
１回上限 500円 ➡ 1,500円
最大３枚・1,500円まで利用可
70歳以上に加え、69歳以下でも要支援・要介護認定を受けている方、18歳未満の児童を扶養し、自動車を保有していないひとり親の方も申請で利用可

おくやみ相談窓口の新設
遺族が行う複雑な手続きを、一つの窓口で案内・サポート
「お悔みハンドブック」を配布

帯状疱疹ワクチン助成の拡充
国の制度対象外の
50歳以上も、館林市が独自に支援

子育て・教育を支える実績

産後ケア事業利用料を無料化
所得制限なし
最大7回まで無料
日帰り型・宿泊型・訪問型を合わせて

18歳まで医療費無料を実現
18歳まで
医療費無料

給食費無償化を実現
給食費
無償化



堀口きくえ（ほりぐち）

公明党

プロフィール
昭和３９年７月１４日生まれ / 館林市議会議員（現１期）
令和４年　市民福祉常任委員会 副委員長
令和６年　議会報編集委員会 副委員長
家族：夫・２男　趣味：スポーツ観戦・お城めぐり　好きな言葉：桜梅桃李

誠実に！まっすぐに！生活者を守ります



皆さまの声を、市政の力へ。安心して暮らせる館林を目指し、
これからも全力で取り組みます。

これからのまちづくり

- ◇命を守る防災・減災の対策強化
- ◇防犯・交通安全対策の徹底
- ◇誰一人取り残さない福祉の推進
- ◇予防医療と健康づくりの推進
- ◇教育環境の充実・強化
- ◇支え合い・つながる地域社会の充実

平井れいこの主な実績

- ○住民票・印鑑証明等のコンビニ交付手数料引き下げ（300円⇒200円へ）
- ○スマート窓口（書かない窓口）の導入
- ○おくやみ相談窓口・ハンドブックの実現
- ○LINE通報システム（道路破損など）の導入
- ○学校体育館へのエアコン整備を推進（今年度：中学校、来年度：小学校）
- ○ダノン城沼アリーナへのエアコン設置
- ○タクシー券制度を拡充(24枚⇒36枚)
- ○高齢者補聴器購入補助の実現
- ○館林市奨学金返済に口座振替を導入
- ○市民相談1,341件(2026年7月末現在)

プロフィール
1969年11月17日生まれ　56歳
1994年3月創価大学通信教育学部 卒業
2017年7月館林市農業委員会 委員
2018年5月館林女子高校 PTA副会長
・館林市議会議員2期
・経済建設常任委員会 委員長



平井れいこ（ひらい）

公明党

たてばやしでは、やりたいを諦めなくていい!! 原島寿が行う『三方よし』

１の呼吸 地域にお金が循環する街づくり
市民の皆様が館林でお使いになるお金が、
地域でお働き下さる皆様や事業者へ回り、
住みやすい環境づくりの整備や、皆様の交流を活性化して
再び市民の暮らしに還元される仕組みづくりを目指します

２の呼吸 挑戦を後押しできるまちづくり
館林の未来を担う少年、少女の若い世代の挑戦を応援します
若い世代の意見を市政に反映し
学業・進学・就職・起業・新しい活動の挑戦など、一歩を踏み出したい人が挑戦しやすい環境づくりを進めます

３の呼吸 安心して暮らせる街へ
お子様や高齢者の方々を犯罪や事故から守るため、
犯罪を未然に防ぐ環境づくりを推進し、防犯カメラ設置等
対策の強化に取り組みます

やりたいを
できるまちに!!

TikTok



無所属

原島寿

46歳

音楽家の感性、樹木医としての知識と技術、そして早稲田大学政経学部で学んだ実践力の全てを注ぎ込み、館林の豊かな未来を創るため、全力で立ち上がります!

豊かなまち愛する館林の文化遺産を未来へ!

【プロフィール】
館林市立第一小学校、第一中学校 卒業
群馬県立太田高等学校 卒業
早稲田大学政治経済学部政治学科 卒業
世界を旅し現地の伝統文化を学び帰国後はボーカル＆パーカッション奏者 SUGEEとしてフジロックフェスティバルに出演するなど全国で活動。旅の中で出会った植物に感銘を受け樹木医の資格を取得。地元の保存樹木の診断・手入れのほか、毎月の宵稲荷神社の清掃活動を継続。「OINARI FES」や「七夕奉納コンサート」などの開催を通じ、館林の歴史や豊かな自然を新しいカタチで未来へつなぐ活動に全力を注いでいる。

文化と環境を未来へとつなぐ3つの取り組み

❶地域活性
自然との共生から育まれた館林の文化遺産を新しいカタチで再生し魅力あふれる資源として内外に発信していきます。

❷公教育
子供たちが語学や楽器などのコミュニケーションツールを思い切り学び、文化の力で笑顔になれるよう公教育に力を入れていきます。

❸文化継承
地域の高齢者や年長者と子供たちの交流の場を生み出し、文化の継承を促します



杉崎ただよし

郷土を思う心をかたちに!

館林の未来を創る３つの主張

❶農業の持続可能性
○大島地区ほ場整備事業
・ほ場整備事業→事業進捗の加速
○経営支援への充実
・補助金要件の緩和、対象者を認定農家＋一般農業者
・補助率アップ
○有機農業の面的支援
・大島地区に「有機農業ゾーン」を
○ブランド化・販売戦略
・戦略の専門家活用、販売チャンネルの多角化

❷地域の担い手・少子化対策
○非認知能力アップの取組み
・農業体験、多世代交流
・地域特性を活かした教育（ジュニア防災士）
○コミュニティスクール
・イベント実施を目的にしない
・子どもを中心に考える地域
・緩やかなつながり（ライトコミュニティ）
○学びの多様化学校
○グローカルに活躍できる教育

❸地方創生・人口増加対策
○二地域居住の推進
・空き家バンクの充実
○シティプロモーションの強化
・YouTube や SNS を使ったデジタル発信の強化

市議会議員の主な役職
・館林市議会市民福祉常任委員会
・館林市議会報編集委員会委員長
・館林市議会総務文教常任委員会副委員長
・館林市議会議会運営委員会

略　歴
・館林市大島町生まれ　・館林市立第四小学校、第二中学校卒業
・足利工業大学附属高等学校卒業
・館林市立第四小学校ＰＴＡ会長（平成 25～26 年）　・館林市立第二中学校ＰＴＡ副会長（平成 27 年）
・第四小学校地区子供育成会顧問（平成 29 年～令和２年）
・館林市スポーツ協会大島支部支部長　・館林市防災士連絡会防災士
・館林市交通指導員　・館林体育協会大島支部事務局長
・館林市立第四小学校運営協議会委員（平成 30 年～現在）

～地域に寄り添い、持続可能な館林を目指して～



飯島ひとし

無所属

59歳

現在私は、昭和24年2月生まれの77歳です。かつては千葉県庁に事務職員として2年4月、横浜市役所でも事務職員として31年3月の併せて33年7月の行政事務職員の経験があります。また横浜市では横浜市都市経営局課長補佐（アントレプレナーシップ事業委員）として平成17年6月22日から平成18年1月31日まで横浜市営交通アンテナショップ設立チームに参画し、当時の中田宏横浜市長（現＝衆議院議員）に政策提言を行いました。結果は残念ながら採用されませんでしたが、その時の市長と交わした熱血な議論が今の私を支えています。そしてまだまだ公務に従事したいという気持ちを強く持ち続けています。現在私は心身ともに健康であり精神年齢は18才です。できれば来年大学受験をしたいくらいです。ちなみに私は、昭和49年3月に早稲田大学社会科学部を卒業しました。 現在日本社会は人口減であえいでおり、人材の有効活用という観点に立てば、私のような高齢者であっても働くべきです。しかも今後は在職老齢年金制度が緩和され、働いてもさほど年金額が減らない方向に改善されつつあります。すなわち働く意欲があれば、働いて欲しいのです。働いて働いて働いて働く。現に日本の高市早苗総理大臣は65才。米国のトランプ大統領は80才です。

さて現在の群馬県の都市の中では館林市が東京都内に至近であることから半導体などの基幹産業の誘致や、都内の大学の産学連携を兼ねたセミナーハウスの勧誘、週末だけ田舎暮らしの2地域居住を希望する都民向けの観光資源を生かした別荘の開発、ドローンを使っての物流の拠点化など、無限の可能性が指摘されます。あふれる政策を吟味点検し、コストパフォーマンスや実現性の濃淡を研究し、徹底的にふるいにかけることで地域の特性を生かした斬新で具体的な政策を発表します。地元基盤がないことから一切のしがらみから解放され真に地元に受け入れられるさまざまな施策が次々と実行し実現されるのです。この館林を変革し、成長させることができるのは私のような、よそ者、バカ者、若者（精神年齢 18 才も含む）ではないでしょうか。現に小池百合子東京都知事は兵庫県出身、山中竹春横浜市長は秩父市出身です。そして私の祖先は館林出身です。



館林きよのり

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

令和8年9月20日執行

館林市議会議員選挙 選挙公報

館林市選挙管理委員会

若い世代への投資は、高齢世代を含む全世代の未来につながる



ないとうかずき

内藤和輝

無所属

30歳

館林をもっと楽しく

【私が特に興味あること】
- 学校給食は費用より、質と量！
- 室内キッズパークが欲しい！
- 館林市にしかない教育システムの樹立(地域企業連携)
- 館林市内の学生スポーツを盛り上げる！

など、子ども・教育・育児について

【プロフィール】
1996年2月4日生まれ(30歳)
館林市立第五小学校 卒
館林市立第四中学校 卒
群馬県立館林高等学校 卒
東京国際大学 卒
家族：妻・長女・長男・犬
趣味：バスケットボール

【職歴】
邑楽館林農業協同組合
金融渉外係・ライフアドバイザー
(有)V-Upトータルプランニング
代表取締役
(有)バージョンアップ
(旧 渡辺ライセンススクール)

❶エンターテイメント×教育で学ぶことが楽しみになるまちへ
館林ならではの資源を教育と結びつけ、子どもたちが実際に体験する機会を増やします。
教室だけでなく、地域全体が学びの場となる教育環境を目指し、子どもたちの創造力•社会性•挑戦する心を育みます。

❷学生と企業・行政をつなぎ、館林で夢を描けるまちへ
館林には全国に誇れる企業や技術があります。学生が地域企業や行政と交流し、仕事やものづくり、
地域課題に触れる機会を増やすことで、館林にも面白い仕事があると感じられる環境づくりを進めていきます。

❸若者が安心して子育てできるまちへ
子育て世代の「こんな制度があったらいいな」「こんなことで困っている」という声を積極的に集め、市政へ届けます。
また、小児医療や出産環境など、安心して暮らせる環境づくりについても改善を働きかけます。

たてばやしこれから!!



岩上ひろし

無所属

66歳

これからもポテンシャルを保ちながら
○食品産業をはじめ数多くある優良企業　○地場産の品質のよい農作物
○日本遺産『里沼』・館林美術館など豊富な観光資源　○首都圏から約１時間の立地条件

これからのこどもたちのために
○学校教育活動の充実と学校再編に向けた慎重審議　○乳幼児支援、初等・中等教育まで切れ目のない支援体制の確立
○子育て世代の支援の充実と移住定住の促進

健康で安全・安心なこれからのたてばやし
○スポーツの振興と健康寿命の延伸　○防災・防犯対策として「地域安全推進」の確立
○年齢や性別、障がいの有無、国籍、宗教、性的指向などの違いに関わらないインクルーシブ社会の実現

生年月日：１９６０年８月１０日

主な経歴
県立太田高等学校卒業　群馬大学教育学部卒業
S58.教員採用以来　約40年の教職経験
館林市立第四中学校校長就任　館林市立多々良中学校校長就任
館林市中学校体育連盟会長就任　群馬県中体連陸上競技部長就任
山幸日本語学校校長就任
令和４年９月館林市議会議員選挙
初当選１期
議会報編集委員会委員長
市民福祉常任委員会副委員長
■住所　館林市青柳町９９３-６



吉野たかし

無所属

68歳

○ゴミ袋有料化に今は反対
有料化の前にやるべきことが有る。現状のゴミ分別約20%を50%迄上げ2~3億円の財源を確保する。今は時期尚早。

○叙勲には反対
仕事もせず（一般質問等）、高額報酬（市民の税金）を得た議員の叙勲には反対します。

○行財政の改革
行財政が昭和の時代から続く市役所を、少子高齢化と物価高の時代に合わせた行財政にする。結婚から子育て世代、高齢者世帯に重点的に予算を組む。

市民が主役。



西城隼人

さいじょう　はやと

40歳

『館林のポテンシャル（可能性）は、こんなものではない』
加速する時代の変化の中で、立ち止まる時間は一秒もありません。
決断の先送りを終わらせ、スピード感をもって実行に移す。
私が館林の『推進力』となり、このまちの存在感を高めます。

豊富な行政経験
館林市役所と群馬県庁に15年以上勤務。
知見を生かしてまちの課題を解決します。

発信力と対話力
行政の広報業務を9年間経験。
住民の声に耳を傾け、まちの魅力を発信。

昭和61年（1986）大街道二丁目
常楽幼稚園
館林市立第一小学校
館林市立第一中学校
栃木県立足利高等学校
学習院大学文学部
館林市役所　（2010～2020）
群馬県庁　（2020～2025）

『暮らしやすさ』No.1の街でありたい



飯塚たつや

いいづか

無所属

52歳

飯塚たつやの決意
住宅販売士として30年、埼玉・群馬・栃木エリアで街づくり・家づくりに従事し気づきました。館林は30年あまり変わらないが、近隣市町は変化・発展してました。
今、館林に必要なこと・現在造成中の工業団地による新規働く場所、・新たに大規模商業店施設誘致。『館林変わったね！』と実感していただけるよう取り組んでまいります。

プロフィール
●昭和49年５月31日生まれ
・市立第十小学校・足利学園中学校
・足利学園高校卒業
・セイラム帝京大学経済学部中退
【職歴】
前職：パナソニックホームズ北関東㈱
（30年勤務）
現在：農業（館林市成島町）
【経歴】
元：・成島南区副区長
現：・青少年育成推進委員
・交通安全協会成島南支部員
・子々ヶ崎陸田組合組合長
資格：宅地建物取引士

市民の誰もが個性や能力を発揮できる誰も取り残さない館林へ

飯塚たつやの約束
○ **１市５町の中核病院**
厚生病院の診療科の拡充をはかります
○ **子供たちの未来**
子供出生時から支援拡充をはかります
○ **安全・安心なまち**
学校再編後の跡地に地域防災センター創設提案
○ **地域資源の研磨**
持続可能な農業の確立支援・農業振興地域の見直し

野村せいぞう市議からバトンタッチ

市政に新しい風を吹かせる！



にいべ貴広

たかひろ

今の世代の皆さんはもちろん、次世代の皆さんにも館林を選んでもらいたい。
その為にまず、市民の皆さんと行政とをつなぐ役割を第一に考え、一所懸命頑張ります。
地域の声を市政に取り入れ、皆さんと共に館林の未来を創っていきます！

1 地域経済 地元企業・個人事業主への支援の拡充と新規の企業誘致を推進し、地域経済を活性化させ税収を増やすことで、充実した公共サービスの提供につなげます！

2 人口減少 空家問題・空地問題の改善を進め、人口増加に結び付く魅力的な街の創造に取り組みます！

3 福祉 市民の移動手段を確保・拡充し、高齢者や支援が必要な方が安心して暮らせるすべての人にやさしい街づくりを進めます！

4 子育て 子育てに不安や悩みを持つ世帯を取り残さず、子育て支援の強化に取り組み、次世代も安心して住み続けられる館林を目指します！

5 街を元気に 地域間競争に負けない、より魅力のある強い館林を目指します！

にいべ貴広（52歳）
【プロフィール】
1974年2月8日生まれ
館林生まれ、館林育ち、
館林で起業。

2010年／(株)智奈コーポレーション 設立
2012年～2017年／小中学校 PTA 副会長
2014年／(一社)館林青年会議所 副理事長
2020年／館林商工会議所青年部 会長
2022年／群馬県商工会議所青年部連合会 会長
2022年／関東ブロック商工会議所青年部連合会 副会長
2023年／関東ブロック商工会議所青年部連合会 顧問

ふるさと館林の再生と飛躍



野本やすお

◇野本やすおプロフィール◇
1958年２月　明和町生まれ
1976年３月　県立太田高校卒業
1980年３月　日本大学法学部卒業
1980年４月　群馬県庁入庁（36年間）
1996年６月　館林市に家族とともに転入
2015年10月　明和町副町長に就任（１期４年）
2022年10月　館林市議会議員当選（１期目）
2024年10月　市議会市民福祉常任委員長就任
2025年２月　館林地区消防組合議会議長就任

■市民生活(子育て・福祉など)の中心となるコミュニティー施設の整備
子どもから高齢者まで誰もが遊んで、学べて、楽しめるコミュニティー施設を整備することで子育てや福祉などの充実を図り、まちの活性化を促します。

■つつじが岡公園を通年型施設に
他の街にない市街地にある美しい城沼を活かして、一年中楽しめる娯楽施設を整備し、市内だけではなく市外からの集客を図ります。

■安全・安心のまち館林を推進
防犯カメラ等の設置を促進し、犯罪者を寄せ付けないまちを目指します。

■里沼温泉リゾートの併設
建設中の茂林寺沼南岸商業施設の充実とともに、市外からも客を呼び込める温泉施設の併設に努めます。

■館林邑楽の議員の連携を推進
将来の館林邑楽のあり方（医療、防災、スポーツ施設など）を話し合う市町議会議員連携の場を創ります。

【野本やすお選挙事務所】
〒374-0025
館林市緑町 2-10-9
TEL 0276-47-4851
FAX 0276-47-4853
Facebook　Instagram

市民の声を市政に！

すべての市民のための市政を

―社会的包摂を目指して―



渡辺みつのり

わたなべ

①市民福祉をまもる　社会福祉士の知見を活かし現場の声をフィードバックします。
◎「老々介護」「ヤングケアラー」への支援、医療・介護・福祉の利用者・従事者の現場負担軽減。
◎福祉制度(介護・障がい・こども・生活困窮)の「制度のはざま」に落ち込まないための支援を進めます。

②地域経済の発展　規制のかべをこわし、成長の道を開く
◎館林インター周辺開発やスマートインターチェンジ開発などに取り組みます。
◎農業・商業・工業を支援する助成制度を利用しやすくするために、「要件のかべ」を解消します。

③防災・安全
◎災害時や災害後（災害廃棄物処理）に備えた防災体制や防災協定の拡充。
◎「猛暑」から命を守る対策として、エアコンの設置補助を広げていきます。

④行財政改革
◎館林市の財政は、通常に入るお金から通常に出るお金を引いた自由に使えるお金はわずか３％です。(令和６年度　経常収支比率９７％)地域経済の活性化(パイの拡大)をはかることで税収を増やし財政の健全化をはかります。

プロフィール
1979 年 館林市生まれ(実家は丸徳すし)
第五小学校、第四中学校卒業
国学院大学栃木高校卒業
国学院大学法学部卒業
大阪大学大学院法学研究科修了(法学修士)

経　歴
元国会議員秘書
元館林市議会議員（３期）
市民福祉常任委員会委員長
館林衛生施設組合議会議長など

現　在
社会福祉士・生活支援員
資　格
社会福祉士・精神保健福祉士
介護福祉士・防災士

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。